

タイムレコーダー

TR-001シリーズ



取扱説明書

設定方法は
QRコード先
に掲載▶



www.tokaiz.jp/tr-001s



「時間を調整したい」
「印字色を変更したい」
「印字がうまくできない」
という時は...
こちらをご覧ください。

目 次

1. はじめに	1
1-1 付属品	1
1-2 各部の名称とはたらき	2
1-3 操作ボタンについて	3
2. 機能について	3
2-1 機能概要	3
2-2 機能詳細	4
3. 設定の準備	5
4. 機能の設定	5
4-1 年の設定	6
4-2 月・日の設定	6
4-3 12/24時間制の設定	6
4-4 時・分の設定	6
4-5 日付変更時間の設定	7
4-6 サマータイム機能について	8
4-7 印刷開始位置の設定(上・下)	10
4-8 印刷開始位置の設定(左・右)	10
4-9 カードの表面/裏面の判別	10
4-10 アラーム鳴動機能の詳細と設定方法	10
4-11 シフト時間の詳細と設定方法	12
4-12 印字色変更機能の詳細と設定方法	14
4-13 締日について	16
4-14 スムーズにお使いいただくために	16
5. リセットとオールクリア	17
6. インクリボンカセットの交換	17
7. トラブル対策	18
8. エラーフラッシュコード	18
9. バッテリーについて	18
10. 安全に正しくお使いいただくために	19
11. 商品仕様	20
保証書	21

1. はじめに

この度は、弊社タイムレコーダーをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。タイムレコーダーを安全に正しくご使用して頂くため、お使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになった後は、いつでも参考できるように取扱説明書を大切に保管してください。

1. 本書の内容につきましては、予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。
2. 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、万一お気づきの点、またはご不明な点などがありましたら、ご購入の販売店までお問い合わせください。
3. お客様が分解、改造を行った場合、責任を負いかねますので、ご了承ください。
4. 本書の内容の一部あるいは全部を、無断で複写することは禁止しております。

TR-001シリーズの特長

★LCDディスプレイと時計文字盤

★シフト時間による印字列自動切替可能

★一日最大6列出勤打刻

★赤/黒2色印刷、遅刻、早退など一目でわかる

★アラーム鳴動時間(0~99秒)、外部スピーカー接続可能

★バックアップバッテリー付き、停電でも最大8時間印字動作可能

※TR-001sの場合、バッテリー機能は付いておりませんのでご注意ください。

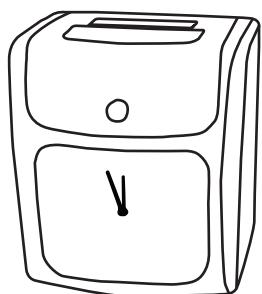
★メモリー保持(停電補償)機能付き、停電時にも内部時計は歩進します

★タイムカードの表面/裏面を自動判断、間違った面を挿入した場合、自動停止機能

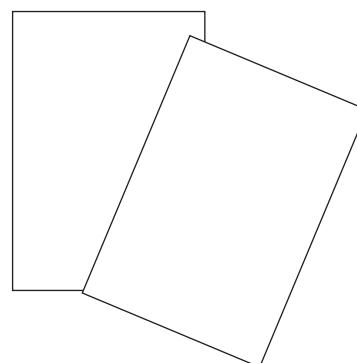
1-1 付属品

タイムレコーダの梱包を開き、本製品および下記に示すすべての付属品が入っているかをお確かめください。

タイムレコーダー本体



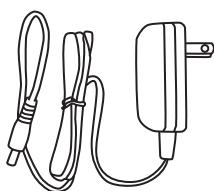
取扱説明書



タイムカード



50枚



電源コード

簡易説明書



本体付

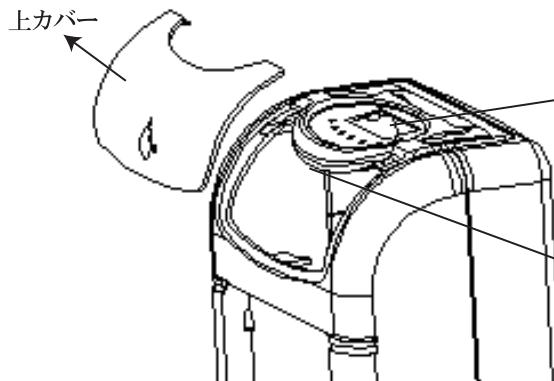
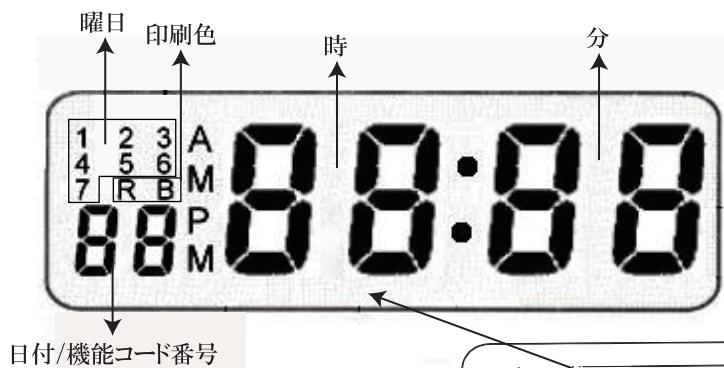
インクリボンカセット



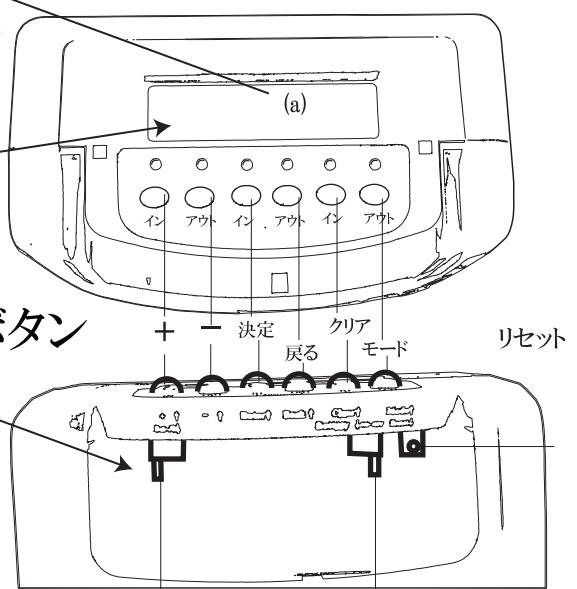
2本

1-2 各部の名称

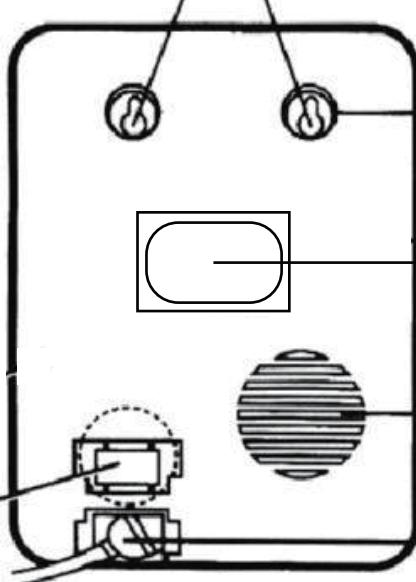
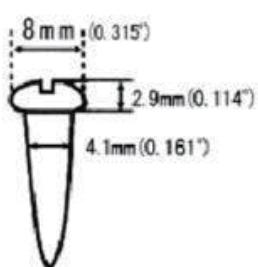
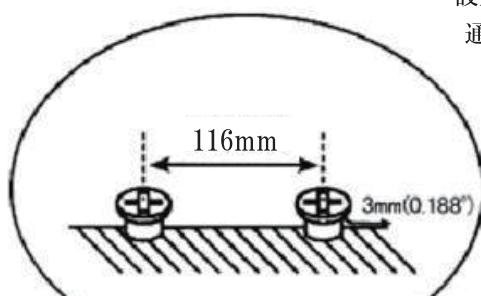
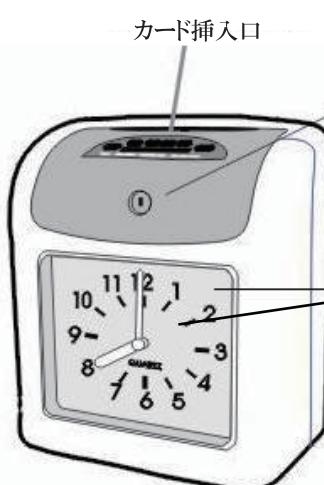
(a)LCDディスプレイ



(b)操作ボタン

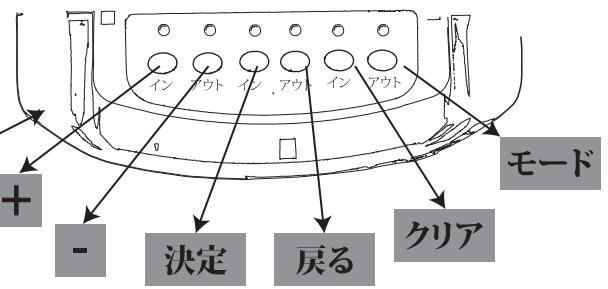
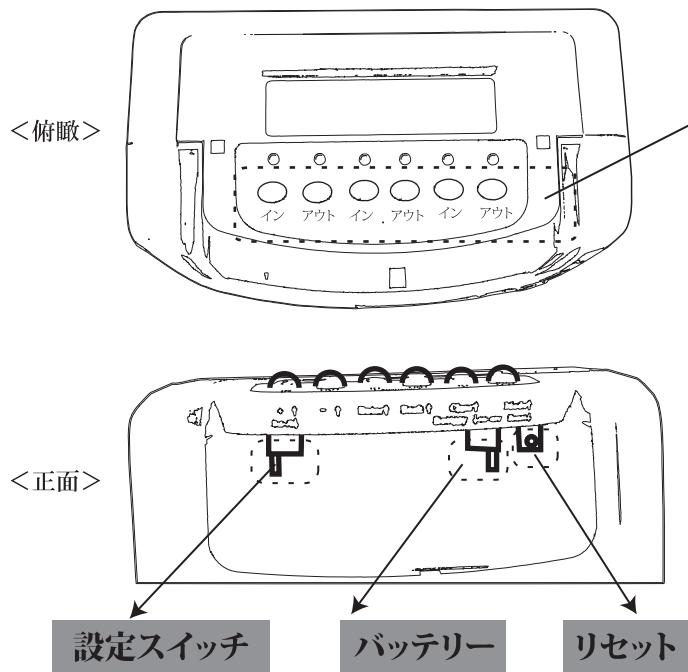


付属品の鍵で上カバーを開き、
上カバーを取り外します。



※TR-001sの場合、
バッテリー機能は付いて
おりませんのでご注意ください。

1-3 操作ボタンについて



- | | |
|------------|--------------|
| + | 設定値を1ずつ増やす |
| - | 設定値を1ずつ減らす |
| 決定 | 設定値を保存して次に進む |
| 戻る | 前のステップに戻る |
| クリア | 設定値をクリアする |
| モード | モード選択に戻る |

※TR-001sの場合、バッテリー機能は付いておりませんのでご注意ください。

2-1 機能概要

コード番号

00-01	年、月、日の設定
02	12/24時間制の設定
03	時刻の設定(時、分)
04	日付変更時間(印字段変更時間)の設定
05	サマータイム開始の設定(月・日)
06	サマータイム開始の設定(時・分)
07	サマータイム終了の設定(月・日)
08	サマータイム終了の設定(時・分)
09	印刷位置の調整(上/下)
10	印刷位置の調整(左/右)
11	タイムカードの表面/裏面の判別
12	アラーム鳴動時間の設定
13-36	時報の設定(01~24回)
37-54	シフト時間(印字欄自動移動時間)の設定
55-72	2色印刷の設定

2-2 機能詳細

コード	機能
00	年の設定
01	月と日の設定
02	12/24時間制の設定
03	時と分の設定
04	日付変更時間の設定
05	サマータイム開始の設定(月・日)
06	サマータイム開始時間の設定(時・分)
07	サマータイム終了の設定(月・日)
08	サマータイム終了時間の設定(時・分)
09	印刷位置の調整(上/下)
10	印刷位置の調整(左/右)
11	タイムカードの表面/裏面の判別
12	アラーム鳴動時間の設定(0~99秒)
13~36	時報鳴動時間の設定(01回~24回)

シフト時間の設定コード

	1列	2列	3列	4列	5列	6列
1回	37	38	39	40	41	42
2回	43	44	45	46	47	48
3回	49	50	51	52	53	54

色替え時間の設定コード

印字色	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
赤	55	57	59	61	63	65	67	69	71
黒	56	58	60	62	64	66	68	70	72

※色替え時間の設定について

例:コード55が「09:00」、コード56が「19:00」に設定された場合

09:00 → 赤印字 → 19:00 → 黒印字 → 次の日の09:00

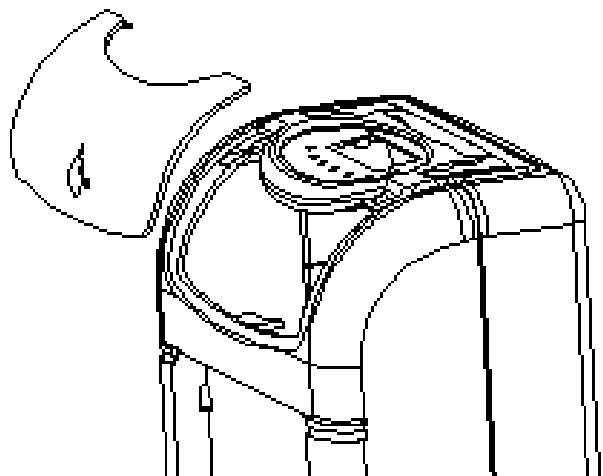
3 設定の準備

1.電源

- (1) 安定した電源をお使い頂くようお勧めします。
- (2) ご使用の前に電圧と電源コードが正しいかご確認ください。

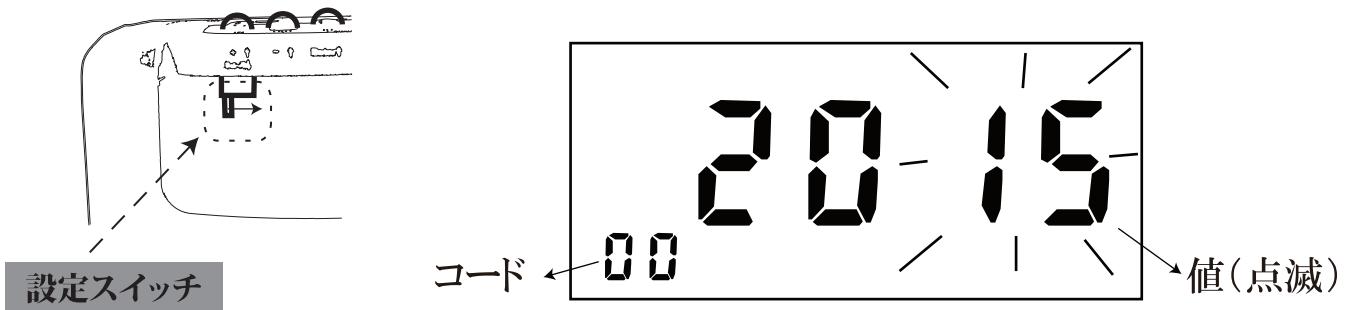
2.上カバー

付属品の鍵を使用して上カバーを取り外すと、プログラムの設定、またはインクリボンカセットの交換などができるようになります。



4 機能の設定

付属品の鍵を使用し、タイムレコーダーの上カバーを取り外して、設定スイッチを右側に動すと、機能設定が開始されます。
※設定スイッチの位置に関しては、操作ボタンについて(P.3)ご参照下さい。
LCDディスプレイの画面は、以下となります。



「モード」を押して、「+」と「-」でコードの値を調整し、
「決定」でコードを選択し、「+」と「-」を押すと各機能の設定ができます。
※「+」または「-」を長押しすると早送り可能です。

※コードは00～72まで、全部で73の機能があります。

※設定を取り消すには、「クリア」を押します。

※コードの選択に戻るには「モード」を押します。

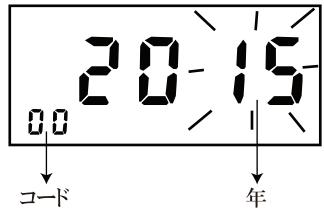
※通常機能に戻るには、設定スイッチを左側に動します。

4-1 年の設定

設定スイッチを右側に動かすと、「機能設定」が開始されます。
LCDディスプレイは、右記のような画面が表示されます。

例：2018年の場合

コード「00」は年の設定、右側の「15」が点滅しています。
「+」または「-」で値を調整し、「2018」年の18を表示します。
「決定」で保存し、次のコードに進みます。

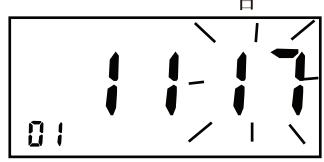
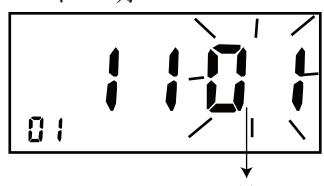
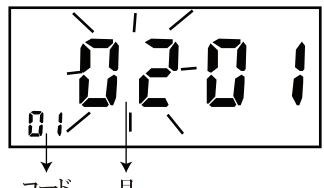


4-2 月・日の設定

例：02月01日から11月17日に設定する場合

コード「01」は月・日の設定、左側の「02」が点滅しています。
「+」または「-」で値を調整し、11を表示します。
「決定」で保存し、日の設定に進みます。

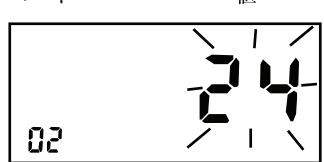
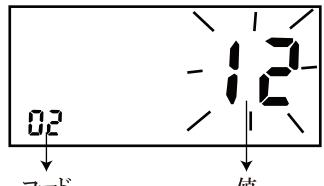
右側の「01」が点滅しています。
「+」または「-」で値を調整し、17を表示します。
「決定」で保存し、次のコードに進みます。



4-3 12時間制/24時間制の設定

例：12時間制から24時間制に設定する場合

コード「02」は時間制の設定、右側の「12」が点滅しています。
「+」または「-」で値を調整し、24を表示します。
「決定」で保存し、次のコードに進みます。

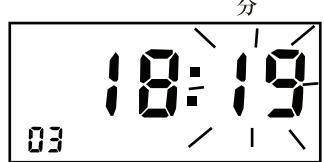
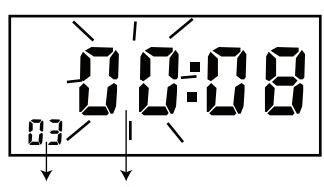


4-4 時・分の設定

例：00時08分から18時19日に設定する場合

コード「03」は時・分の設定、左側の「00」が点滅しています。
「+」または「-」で値を調整し、18を表示します。
「決定」で保存し、分の設定に進みます。

右側の「08」が点滅しています。
「+」または「-」で値を調整し、19を表示します。
「決定」で保存し、次のコードに進みます。



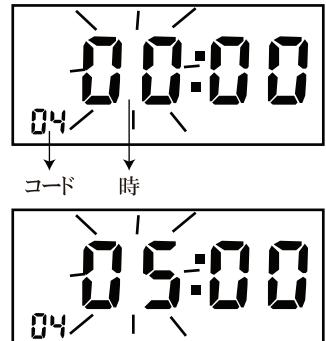
4-5 日付変更時間(印字段変更時間)の設定

例： Aさんの就業時間は20日20:00～21日05:00の場合、
通常出勤打刻では、右記のようになります。
※工場出荷時の初期値は「00:00」になっているので、
出勤と退勤を同じ行に印字するため、以下の手順で
調整してください。

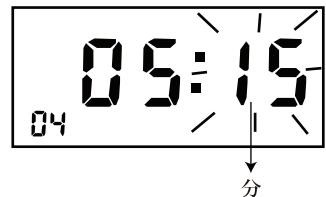
	出勤	退勤
20日	19:58	
21日		05:03

コード「04」は次の行に印字時間の設定、

左側の「00」が点滅しています。
「+」または「-」で値を「05」に調整、
「決定」で保存し、分の設定に進みます。



右側の「00」が点滅しています。
「+」または「-」で値を「15」に調整、
「決定」で保存し、次のコードに進みます。



上記の手順で設定して、
Aさんの出勤打刻は、右記のようになります。

	出勤	退勤
20日	19:58	05:03
21日		

※通常、従業員の退勤打刻時間は規定退勤時間の数分後になるため、
15分ほど遅めに設定するのがオススメです。

4-6 サマータイム機能について

※サマータイムが導入された時に設定してください。

1. サマータイムの実行日

一度設定して頂ければ、翌年から自動的に更新されますので、その後の設定は不要です。

2. サマータイムの実行時間

サマータイムの開始日の指定時間になると、自動的に時刻が1時間進み、サマータイム終了日の指定時間になると、自動的に時刻が1時間戻るようになっています。

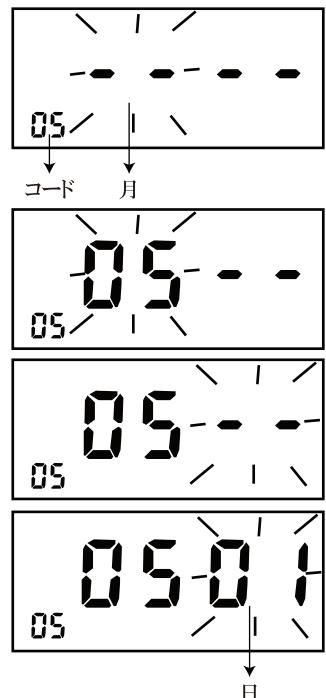
サマータイム開始月・日の設定

例：05月01日に設定する場合

コード「05」はサマータイム開始月・日の設定、最初の設定には、左側の「--」が点滅しています。「+」または「-」で値を調整し、05を表示します。「決定」で保存し、日の設定に進みます。

右側の「--」が点滅しています。

「+」または「-」で値を調整し、01を表示します。「決定」で保存し、次のコードに進みます。



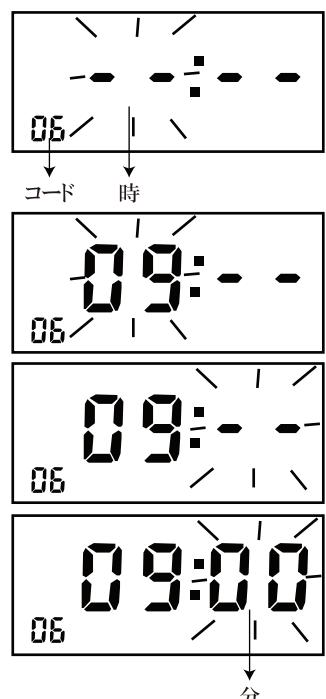
サマータイム開始時・分の設定

例：09時00分に設定する場合

コード「06」はサマータイム開始時・分の設定、最初の設定には、左側の「--」が点滅しています。「+」または「-」で値を調整し、09を表示します。「決定」で保存し、分の設定に進みます。

右側の「--」が点滅しています。

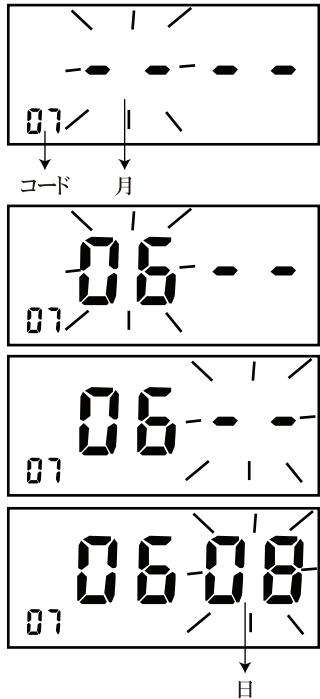
「+」または「-」で値を調整し、00を表示します。「決定」で保存し、次のコードに進みます。



サマータイム終了月・日の設定

例：06月08日に設定する場合

コード「07」はサマータイム終了月・日の設定、最初の設定には、左側の「--」が点滅しています。「+」または「-」で値を調整し、06を表示します。「決定」で保存し、日の設定に進みます。



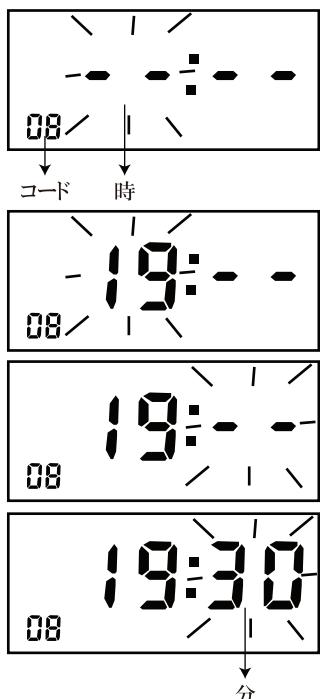
右側の「--」が点滅しています。

「+」または「-」で値を調整し、08を表示します。
「決定」で保存し、次のコードに進みます。

サマータイム終了時・分の設定

例：19時30分に設定する場合

コード「08」はサマータイム終了時・分の設定、最初の設定には、左側の「--」が点滅しています。「+」または「-」で値を調整し、19を表示します。「決定」で保存し、分の設定に進みます。



右側の「--」が点滅しています。

「+」または「-」で値を調整し、30を表示します。
「決定」で保存し、次のコードに進みます。

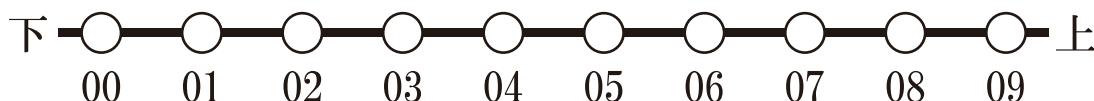
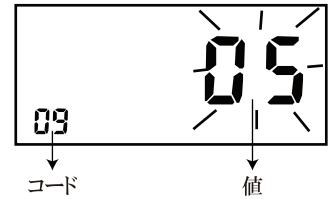
※工場出荷時の初期設定には、サマータイムの開始・終了の月・日・時・分の設定はされていません。

4-7 印字位置(上・下)の設定

コード「09」は印字位置(上・下)の設定、右側の「05」が点滅しています。

「+」または「-」で値を調整し、「決定」で保存し、次のコードに進みます。

※工場出荷時の初期値は「05」(印字コマの真ん中)、万が一印字がズれている場合、調整してください。

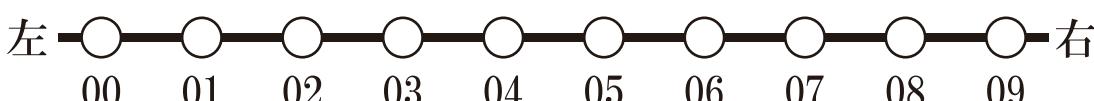
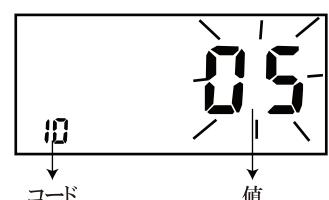


4-8 印字位置(左・右)の設定

コード「10」は印字位置(左・右)の設定、右側の「05」が点滅しています。

「+」または「-」で値を調整し、「決定」で保存し、次のコードに進みます。

※工場出荷時の初期値は「05」(印字コマの真ん中)、万が一印字がズれている場合、調整してください。

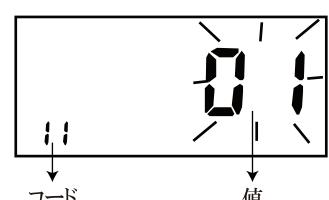


4-9 タイムカード表面・裏面の判別機能の設定

コード「11」はタイムカード表面・裏面判別機能の設定、右側の「01」が点滅しています。

「+」または「-」で値を調整し、「決定」で保存し、次のコードに進みます。

※00は機能の終了、01は機能の開始となります。



4-10 アラーム鳴動機能の詳細と設定方法

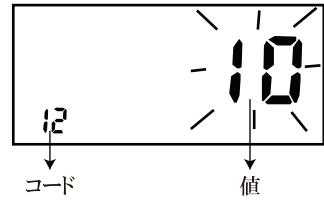
アラーム鳴動機能について

TR-001シリーズタイムレコーダーは、全部で24箇所、鳴動時間の秒数・時・分、曜日の設定ができますので、都合のいい設定を選択してご利用ください。

鳴動時間(秒数)の設定

例：10秒に設定する場合

コード「12」はアラーム鳴動する秒数の設定、「+」または「-」で値を調整し、10を表示します、「決定」で保存し、次のコードの設定に進みます。

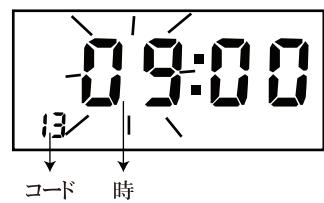


※24箇所のアラーム鳴動には、同じ鳴動秒数で鳴動しますので、ご注意ください。
※0秒に設定した場合は、アラームを1～24回設定しても、鳴動しませんので、ご注意ください。

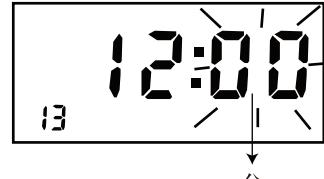
時報(アラーム)の設定

例：09:00を12:30に設定する場合

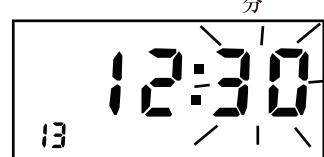
コード「13」はアラーム1回目の設定、左側の「09」が点滅しています。「+」または「-」で値を調整し、12を表示します、「決定」で保存し、分の設定に進みます。



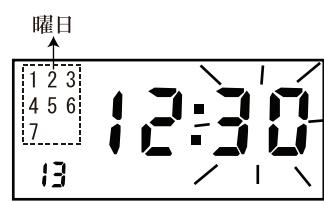
右側の「00」が点滅しています。「+」または「-」で値を調整し、30を表示します、「決定」で保存し、曜日の設定に進みます。



左上の小さい数字のうち、最初は「7」が点滅しています。
※1～7の数字は月曜～日曜を表します。



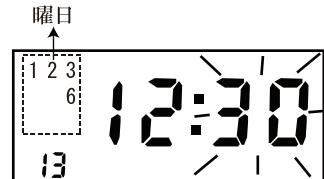
「決定」または「戻る」で曜日を選び、設定ができます。
必要のない曜日はその曜日の数字を選び、「-」を押すと、削除できます。「+」を押すと、表示できます。



※1～7を全部消すには、「クリア」を長押しします。
※1～7を全部表示するには、「戻る」を長押しします。
※曜日の設定しない場合、次のコードに進むまで、「決定」を何回も押します。
※アラーム設定2回目～24回目は同じ手順で設定できます。

1	2	3	4	5	6	7
月	火	水	木	金	土	日

例：月曜日、火曜日、水曜日と土曜日が鳴動し、木曜日、金曜日と日曜日は鳴動しない場合には、右のように設定します。



4-11 シフト時間の詳細と設定方法

シフト時間(印字欄自動移動機能)について

シフト時間(印字欄自動移動機能)とは、設定された時間になると、印字欄を自動で切換えて印字する機能をいいます。

TR-001シリーズタイムレコーダーは、全部で18箇所の設定ができますので、都合のいい設定を選択してご利用してください。

シフト時間1回目の設定

例：08:00を09:30に設定する場合

コード「37」はシフト時間1回目の設定、左側の「08」が点滅しています。「+」または「-」で値を調整し、09を表示します、「決定」で保存し、分の設定に進みます。

右側の「00」が点滅しています。「+」または「-」で値を調整し、30を表示します、「決定」で保存し、曜日の設定に進みます。

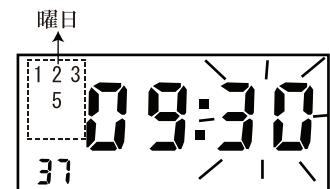
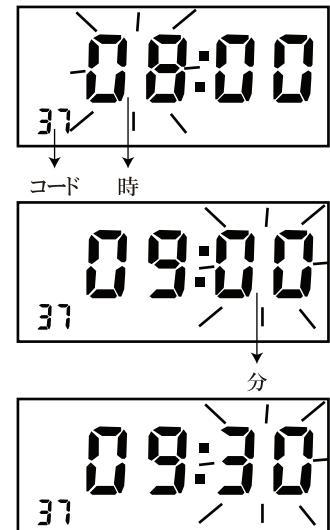
左上の小さい数字のうち、最初は「7」が点滅しています。
※1～7の数字は月曜～日曜を表します。

「決定」または「戻る」で曜日を選び、設定ができます。必要なない曜日はその曜日の数字を選び、「-」を押すと、削除できます。「+」を押すと、表示できます。

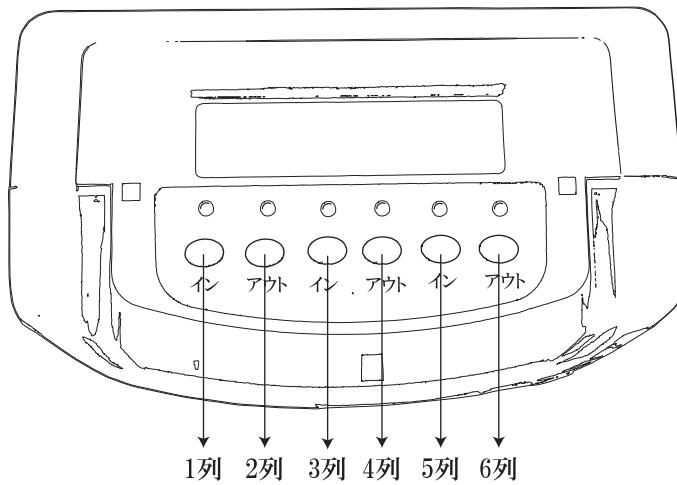
※1～7を全部消すには、「クリア」を長押しします。
※1～7を全部表示するには、「戻る」を長押しします。
※曜日の設定しない場合、次のコードに進むまで、「決定」を何回も押します。
※シフト時間の設定2回目～18回目は同じ手順で設定できます。

例：月曜日、火曜日、水曜日と金曜日が移動し、木曜日、土曜日と日曜日は移動しない場合には、右のように設定します。

※必要に応じて、各列(印字欄)のボタンを押して、それぞれの列に印字することもできます。



<図1>



<図2>

午前		午後		残業	
イン	アウト	イン	アウト	イン	アウト
↑	↑	↑	↑	↑	↑
1	2	3	4	5	6
列	列	列	列	列	列
↓	↓	↓	↓	↓	↓

列とコードの対応表

	1列	2列	3列	4列	5列	6列
1回	37	38	39	40	41	42
2回	43	44	45	46	47	48
3回	49	50	51	52	53	54

例：就業時間09:00～18:00、休憩時間が12:00～13:00の場合、
下記のように設定します、

印字列	コード	規定時間	実際打刻時間	自動移動時間設定	解説
1列	37	09:00	08:58	08:00	9時前に出勤打刻するため、事前に移動するのが必要になり、08:00に設定するのが、オススメです。
2列	38	12:00	12:02	12:00	12時すぎに打刻するため、事前に移動する必要ありません。
3列	39	13:00	12:58	12:30	12時前に打刻するため、事前に移動するのが必要になり、12:30に設定するのが、オススメです。
4列	40	18:00	18:03	18:00	18時すぎに打刻するため、事前に移動する必要ありません。

4-12 印字色変更機能の詳細と設定方法

印字色変更機能について

印字色は赤と黒、2色あります。印字色を変えることで、遅刻、早退や外出などが一目でわかります。

全部で12回分設定できますので、都合のいい設定を選択してご利用してください。

印字色変更時間1回目の設定

例：08:30以後赤印字に設定する場合（※初期値は09:01）

コード「55」は印字色変更時間1回目の設定、左側の「09」が点滅しています。

「+」または「-」で値を調整し、08を表示します、「決定」で保存し、分の設定に進みます。

右側の「01」が点滅しています。

「+」または「-」で値を調整し、30を表示します、「決定」で保存し、曜日の設定に進みます。

左上の小さい数字のうち、最初は「7」が点滅しています。
※1～7の数字は月曜～日曜を表します。

「決定」または「戻る」で曜日を選び、設定ができます。
必要なない曜日はその曜日の数字を選び、「-」を押すと、削除できます。「+」を押すと、表示できます。

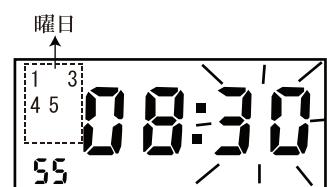
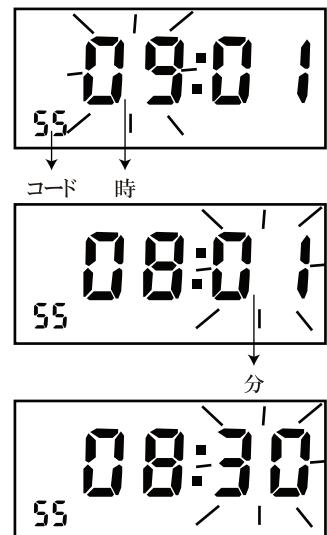
※1～7を全部消すには、「クリア」を長押しします。

※1～7を全部表示するには、「戻る」を長押しします。

※曜日の設定しない場合、次のコードに進むまで、「決定」を何回も押します。

※印字色変更時間の設定2回目～18回目は同じ手順で設定できます。

例：月曜日、水曜日、木曜日と金曜日が色変更し、
火曜日、土曜日と日曜日は色変更しない場合には、
右のように設定します。

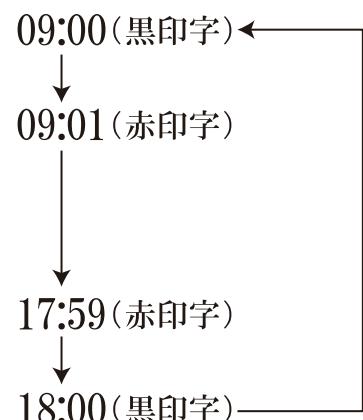


色替え時間の設定コード

印字色	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
赤	55	57	59	61	63	65	67	69	71
黒	56	58	60	62	64	66	68	70	72

例：就業時間が09:00～18:00、09:01以後は遅刻、
19:00以前は早退の場合、下記のように設定します。

コード	印字色	印字色 変更時間
55	赤	09:01
56	黒	18:00



印字例：

	黒印字	赤印字 (早退)	
15	08:56	17:38	
16	09:02	19:55	

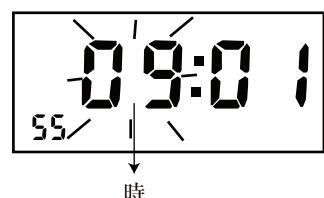
赤印字
(遅刻) 黒印字

例：全部黒印字に設定する場合

P.05に記載しているように、コードを55に調整します。



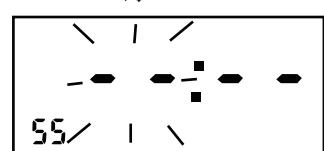
「決定」を押すと、時間の値が点滅します。



「クリア」を押すと、値をクリアします。

「決定」で保存し、

設定スイッチを左側に動すと、通常機能に戻ります。



※別の赤印字設定がございましたら、同じ手順でクリアしてください。

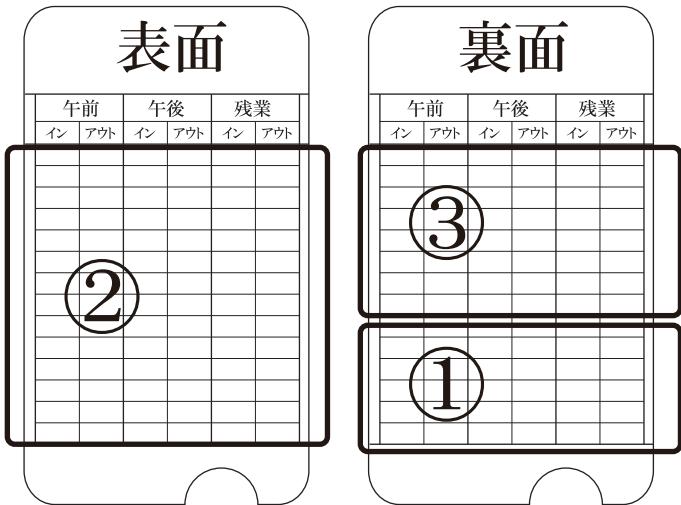
4-13 締日について

締日の設定不要！

日付がカードに印刷されているので、当日の日付がある面に印字するだけ！

例：25日が締日の場合

- ①26日～31日まで、裏面に印字
- ②翌月1日～15日まで、表面に印字
- ③16日～25日まで、再度裏面に印字



4-14 スムーズにお使いいただくために

シフト時間に関しては、設定された時間になると、印字列を自動に選択し、タイムカードに設定された列に打刻の印刷ができます。

※通常、従業員がシフト時間の前に出勤打刻するため、出勤(イン)の時間は15分～30分ほど早めに設定することをおススメします。また、シフト時間に合わせて、印刷色の変更することにより、遅刻、早退などが判定可能です。

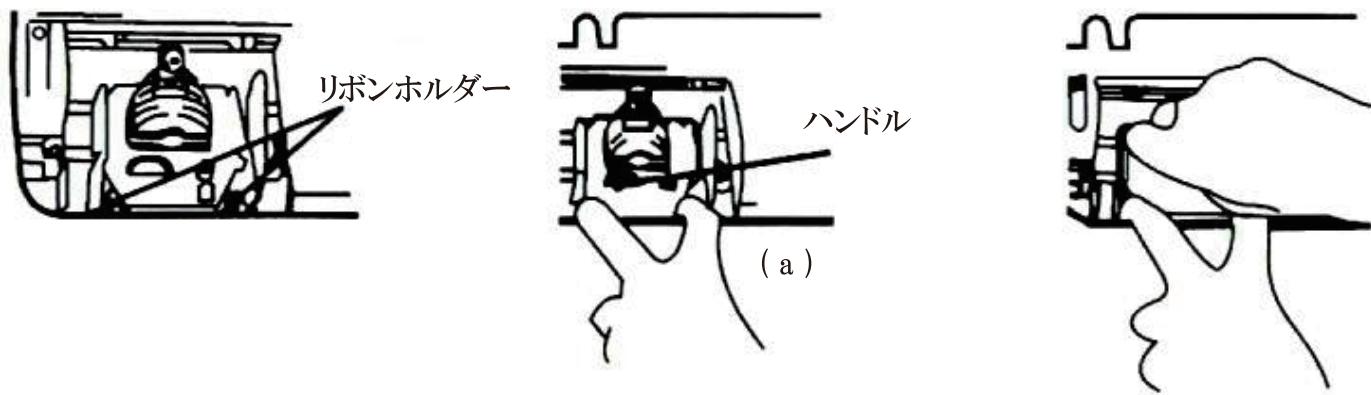
※従業員の出勤、退勤時間が固定ではない場合は、各列(印字欄)のボタンを押して、それぞれの列に印字することが、オススメです。

5 リセットとオールクリア

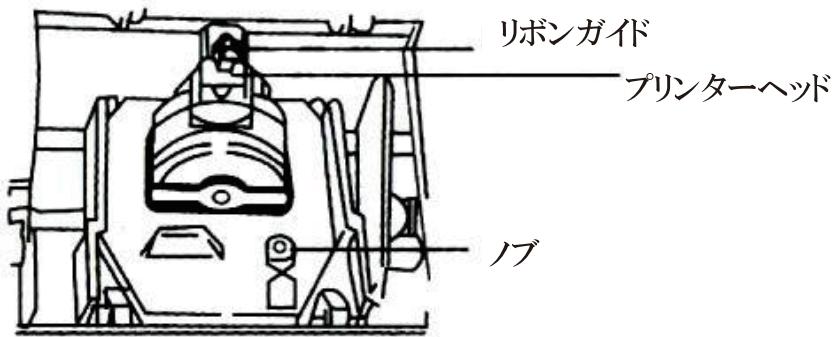
- 1.「リセット」押すと、プログラム設定の最初の画面に戻ります。
- 2.オールクリア：お買い上げ時の状態に戻すには、「+」と「クリア」と「モード」を同時に押してください。
※オールクリアをすると、お客様が設定した内容は全て消えてしましますので、十分ご注意ください。

6 インクリボンカセットの交換

1. 上カバーを開き、4列(P13図1参照)を押してインクリボンカセットを中心にもう一度押すと、カセットが中央に移動します。
2. 下図に示すように、リボンホルダーを手前に引き、所定の位置(a参考)をしっかりと持ち、インクリボンカセットを外します。



3. リボンガイドとプリンターヘッドの間に新しいインクリボンカセットを挿入し、カチッと音がするまでカートリッジヘッドを押します。
ノブを時計回りに回し、インクリボンカセットを取り付けます。



7 ブラブル対策

動作異常の場合は、「リセット」押して、タイムレコーダーを再起動します。

トラブル	原因	対策
タイムカードが挿入できない	1. 停電 2. タイムカードが折損 3. タイムカードの表/裏面が間違っている 4. 電源コードが抜けている 5. 力づくでカードを挿入したか、または引っ張り出した	1. 電力が復旧するまで待つ 2. 新しいカードに交換 3. タイムカードを裏返して挿入 4. 電源ソケットにしっかりと電源プラグを差し込む 5. 電源ソケットから電源プラグを引き抜き、再度差し込む
時計が遅れているまたは進んでいる	1. 時刻の設定が間違えている 2. 停電	1. 時刻の再設定 2. 電力が復旧するまで待つ
印刷が薄い	1. インクリボンカセットが正しくセットされていない 2. インクリボンカセットが長時間使用されている	1. インクリボンカセット調整 2. 新しいインクリボンカセットに交換
正しい位置に印刷できない	1. 日付変更が正しく設定されていない 2. タイムレコーダーの使用が不適切	1. 日付変更の再設定 2. カードスロットにカードが挿入されていることを確認し、適切に取り除く
日付が正しくない	日付の設定が間違えている	日付の再設定
印刷が不完全	タイムレコーダーの使用が不適切	カードスロットにカードが挿入されていることを確認し、適切に取り除く

8 エラー番号

LCDディスプレイにE1E1、E2E2、E3E3が表示された場合は、ご購入の販売店へご連絡ください。

E1E1---カードフィーダーの位置が間違えている

E2E2---プリンターの位置が間違えている

E3E3---バッテリーの電気がない

9 バッテリーについて

初期状態はオフに設定され、バッテリーの使用＆充電ができませんので、ご注意ください。

バッテリー機能を使用したい場合、バッテリーボタンを右に回し、オンにしてください。

※TR-001sの場合、バッテリー機能は付いておりませんのでご注意ください。

10 安全に正しくお使いいただくために

本書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような安全表示を行っています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この機器を分解しないでください。 内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。	
	この機器を改造しないでください。 火災、感電のおそれがあります。	
	万一、発熱していたり、煙が出ていたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合は、 すぐにACアダプタをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。	
	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。	
	ACアダプタを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。 また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりするとACアダプタを痛め、 火災、感電のおそれがあります。	
	万一、異物(金属片、水、液体など)が機器の内部に入った場合は、 すぐにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。	
	濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。	
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う 可能性が想定される内容及び物的損害の発生が 想定される内容を示しています。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。	
	この機器の上に水などが入った容器または金属物を置かないでください。 こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。	
	湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。	
	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。 火災、感電の原因となることがあります。	
	ACアダプタを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。 (必ずACアダプタを持って抜いてください) コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	
	本機器を移動させる場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜いて行ってください。 コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	
	印字ヘッド部分には、触れないよう、ご注意ください。ケガ、火傷の原因となることがあります。	
	タイムカードの挿入口には指定のタイムカード以外は差し込んだり、落としたりしないでください。 火災、感電の原因となることがあります。	
	本機器は、容易にACアダプタを抜くことが可能なところでご使用ください。 万一、発熱していたり、煙が出ていたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合に、 すぐにACアダプタをコンセントから抜くことができないと、火災、感電の原因となることがあります。	

11 商品仕様

型番	TR-001シリーズ
電源	AC 100~240V DC13V 1.5A 入力 (各機器のラベルに示された表示参考)
消費電力	定格:0.4W 通常:0.4W 最大:13W
使用環境	-30°C~40°C 10%RH~80%RH
時計方式	水晶発振方式
カレンダー方式	万年カレンダー(月末自動調整)内蔵
印字方式	カード自動引込式／ドットプリンター方式
印字色	2色(黒・赤)
印字欄	6欄
時報出力	有り 外部スピーカー接続による外部時報出力も可能 鳴動時間(1~99秒)
電子メロディ内蔵	有り 1曲内蔵
設置方式	据え置き式(壁掛け可能)
集計機能	なし
メモリー保持 (停電補償)	工場出荷時より停電累計時間で3年間 リチウム電池内蔵
寸法	本体:約 D120*W190*H215 mm 電源コードの長さ:約 1.5m 重量:約 1.4Kg
付属品	タイムレコーダー本体、電源コード 日本語取扱説明書 日本語簡易説明書 鍵 * 2本 タイムカード * 50枚 インクリボンカセット(本体付) バッテリーパック(※TR-001sの場合、付属しません)
タイムカード	TC-001 「Cカード」 サイズ:W85*H188*D0.35 mm
インクリボンカセット	TL-001 取り換え専用
保証期間	1年間(タイムレコーダー本体のみ)

保証規定

- 1) 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたします。
- 2) 次のような場合は保証期間内でも保証対象外になります。
- (1) 異常電圧による故障及び損傷。
 - (2) 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (3) 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (4) 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (5) 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- 3) お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内の修理もお受けいたしかねます。
- 4) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5) 弊社は、いかなる場合でもご購入者様の逸失利益、間接損害、特別損害、弁護士費用その他の損害を賠償しないものとします。

保証書

型番：TR-001s

保証期間：本体1年間

お名前

ふりがな

様

ご住所

電話番号

〒

お買い上げ年月日

注文番号

年 月 日

○お問い合わせ先

株式会社万通商事

住 所： 〒273-0011 千葉県船橋市湊町3-11-7

お問合せ電話番号： **0120-090-627**

受付時間： 平日：10:00～19:00
祝日：10:00～17:00
(土・日・年末年始・弊社休業日を除く)

ホームページ： www.tokaiz.jp

本書は日本国内においてのみ有効です。
THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.

※本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。



TOKAIZ